

(教材第3号様式)

吉田学術教育振興会
令和6年度 教材活用状況報告書

報告日 令和8年1月15日

公益財団法人吉田学術教育振興会

理事長 山倉 修一 殿

学校名	須恵町立須恵第一小学校
報告者	石津 朋顕 (連絡先TEL: 092-932-1109)
寄贈品	デジタル気体測定器、簡易検流計、気体検知管測定器、児童用方位磁石 磁針修正トレー、水の中の微生物プレパラート、小学校用プレパラートセッ ト、胎児ソフトモデルセット
活用状況 (使用者、使用内 容、使用頻度等)	<ul style="list-style-type: none">・デジタル気体測定器は、6年生「物の燃え方と空気」の単元での燃 焼実験で使用した。気体検知管と異なり、集気びん内の酸素と二酸化炭素濃度を同時に図れるので、「燃焼により、集気びん中の酸素が消費され、二酸化炭素が増大したことを、数値としてつかみやすかった。・気体検知管は使用できる台数が6台ほどだったため、各班に1台ずつ配付できよかった。・簡易検流計は4年生「電流の働き」の学習で電流の強さを図る実験で活用した。・方位磁石は3年生の3学期単元磁石の性質の学習で、極性について学習する際に、活用させていただいた。方位磁針修正トレーはトレーに矯正器が付いており、保管する際もきちんと極がそろっているので、非常に重宝している。・微生物プレパラートは、6年生「生き物どうしのかかわり」の学習において、微生物について学ぶ際に、実際自然の中から採集し、子どもたちに提示することは困難なためこの既成のミジンコやゾウリムシ等のプレパラートは大変助かった。・胎児ソフトモデルセットは、5年生での「人のたんじょう」の学習において活用した。

<p>申請当初の 目的達成状況</p>	<p>・ 気体検知管や方位磁石などは、子どもたち一人一人にできるだけ多く観察・実験に取り組ませ、実感を伴った理解をはかる上で大変重宝した。また、ともすれば教科書の写真や動画を視聴して終える場面でも本物の標本が入ったプレパレートなどを活用することができ、子どもたちに発見や探究の機会を与えることができたといった点でも申請当初の目的は達成できたものとする。</p>
<p>教育的効果について 所見等</p>	<p>・ 胎児モデルなども実際の重量感を体験でき、実際に体験できない内容も仮想体験を積むことができるなど、貴重な経験を子どもたちに提供することができた。</p>

活用状況の写真等（当日の様子など）



5年生「人のたんじょう」の学習の様子
実際に2.7kgもある胎児モデルに母体の負担を気遣ったり、小さな受精卵の成長に感動する声が多く聞かれ、大変貴重な



備品棚に整然と並ぶ方位磁針の様子。床面にある調整マグネットのおかげで、常に使用できる状態となり重

今後の活用見通し・課題

・ 寄贈いただいた様々な教具を各学年での理科学習で活用させていただきたい。課題としては、理科学習に苦手意識をもつ職員もあり、準備室にこのような貴重な備品があることを知らないまま単元を終える学級もあった。今後は備品庫のラベリングやクラスルームなどの伝達手段を利用して、広く職員に周知していく必要がある。